

江東区立毛利小学校

住所 〒135-0001 江東区毛利 2-2-2
電話 03-3631-1647 F A X 03-3631-3458

校長 川辺 章絵

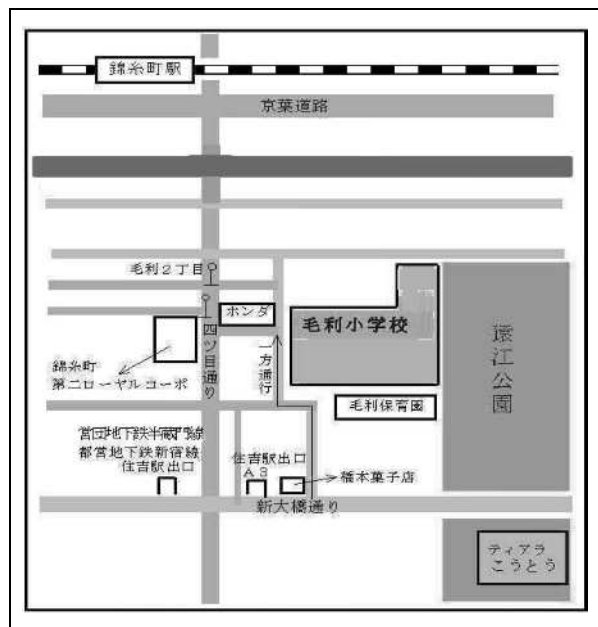
副校長 安部 徹

教職員数 21名 (令和6年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	38	56	47	60	62	51	314
学級数	2	2	2	2	2	2	12



◇交通案内図



◇交通機関

- ◆JR総武線 「錦糸町駅」下車 徒歩8分
- ◆都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 「住吉駅」下車 徒歩3分
- ◆都営バス 東陽町行 深川車庫行 「毛利二丁目」下車 徒歩1分

沿革

明治45年3月16日 猿江町12番地に東京市猿江尋常小学校として開校。昭和4年7月31日毛利町18番地（現在地）に新校舎を移転。昭和22年4月1日には校名を東京都江東区立毛利小学校に変更し、今年で開校112周年を迎える。本年度は、教育目標の中から「心ゆたかな子」を重点目標とし、自他を大切にする、思いやりと豊かな感性を備えた子の育成を目指している。本校の校庭は全面芝生であり、隣には猿江恩賜公園がある。環境にも恵まれ、落ち着いた学校である。

主な学校行事

〔運動会〕	5月25日(土)
〔展覧会〕	12月7日(土)
〔道徳授業地区公開講座〕	1月23日(木)

毛利小学校の教育

あなたも私も、ともに輝く学校

～こども、保護者・地域の方、教職員、互いのよさが発揮される学校～

- 心を育てる人権教育の推進
- 居場所のある学年・学級づくり
- 異学年交流を軸とした生活指導・特別活動
- 地域や自然環境を生かした豊かな感性の醸成
- 学校2020レガシー

徳

- 「主体的・対話的で深い学び」の定着
- 伝え合い、学びを深める「表現する力」の育成
- 思考力・判断力・表現力を支える知識・技能の育成
- 個別最適な学びと協働的な学びの充実 (GIGA 含)

知

- 体育授業の充実
- 体力向上を図る日常の取組
- 「安心・安全」の教育活動の推進

体

Chromebook や電子黒板、デジタル教科書等ICTを活用し、授業の工夫と充実を図ります。



「毛利農園」では、6年間通した農園体験学習を実施します。稲・さつまいも・小麦などを栽培しています。



江東区立豊洲小学校

住所 〒135-0061 江東区豊洲4-4-4

電話 03-3531-7788

FAX 03-3532-5644

校長 鈴木 陽子

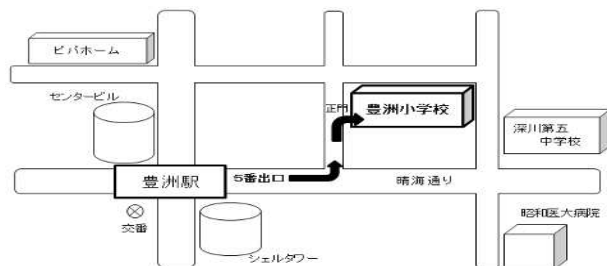
副校長 蜂谷 顕一・幾島 美香

教職員数 46名 (5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特設学級	合計
児童数	130	139	114	139	159	166	27	874
学級数	4	4	4	4	5	5	4	30

◇交通案内図



◇交通機関

◆東京メトロ有楽町線・新交通ゆりかもめ

「豊洲駅」下車 徒歩2分

◆都営バス

「豊洲4丁目」・「豊洲駅前」下車 徒歩2分

海01・門19・業10・錦13系統

◇沿革

本校は、昭和22年4月12日に開校しました。昭和46年に仲よし学級が開設されました。豊洲の町の発展とともに増改築を重ね、現在の豊洲小学校となりました。

今年度、開校77周年を迎えます。

◇校章の由来



波と貝で立地を表し、
未広がり貝は、学校の
発展を願っています。

◇教育目標

◎ともに力を合わせる子

○よく考えて行動する子

○すなおで元気な子

ともだちを大切にする子

いじめ防止共通授業を実施し、学校全体でいじめの未然防止・早期発見に努め、いじめを撲滅します。

互いを尊重し認め合う子

道徳教育・人権教育を推進し、自他共に大切にするあたたかい学校風土を醸成します。

協働して学ぶ子

学習、学級活動、学校行事において、協働的な学びを大切にします。

自分の考えをもち、判断する子

様々な場面で、自分の考えをもって主体的に判断しようとする態度を育てます。

めあてをもって楽しく学ぶ子

学習のねらいを明確にし、一人一人がそれぞれのめあてをもって、自分の考えを表現できる授業を行います。

きまりを守って生活する子

互いに声をかけ合い、きまりを守ってきもちよく学校生活を送ろうとする社会性を養います。

気持ちよくあいさつする子

すすんであいさつをし、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。

すなおな心で関わる子

間違えたり失敗したりしたときも正直に自分を振り返り、前向きにかかわろうとする態度を育てます。

進んで運動に取り組む子

長なわチャレンジ、短縄週間、校内ポッチャ大会など、かかわりながら楽しく体を動かします。

家庭・地域との連携

PTA 活動・地域学校協働本部
ゲストティーチャーによる体験的授業
(キャリア教育、豊洲町探検、お囃子体験) 読み聞かせボランティア



特別支援教育の充実

一人一人の願いや特性を大切に
した学級経営・専科経営

不登校支援・居場所づくり

別室指導の充実・オンライン授業

すべてのこどもが、安心して楽しく学び、成長を実感し、かがやくことのできる学校を目指します

江東区立豊洲西小学校

住所 〒135-0061 江東区豊洲5-1-35

電話 03-3534-2821

FAX 03-3534-2824

校長 榎田 光治

副校長 齋藤 克人・柴田 敏朗

教職員数 56名



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	198	201	234	202	166	161	1162
学級数	6	6	7	6	5	4	34

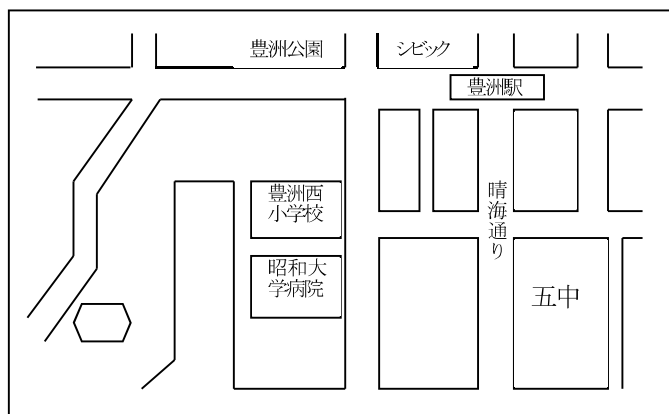
◆交通機関

◇東京メトロ有楽町線「豊洲駅」下車 徒歩7分



豊洲地域の歴史をイメージさせる海と船をモチーフにした校章です。海を連想させる波は、皆の心が一つになり、新しい学校を協力して作り上げていくことを表しています。

◇交通案内図



I 教育目標

人権尊重を基調とし、グローバルで多様性を尊重する共生社会に向けて、自己をみがき、人や地域、環境と豊かにかかわり、希望をもって自ら未来を切り開くための資質・能力の育成を目指し、次の目標を設定する。

『未来を開く』

- あかるい心
- やさしい心
- たくましい心

II 豊洲西小の教育ビジョン(夢を育む笑顔あふれる学校づくり)

- 重点目標
- ① 挑戦。チャレンジする心
 - ② あきらめない心
 - ③ 自分も友達も大切にする心

「教育推進プラン・江東（第2期）」・「こうとう学びスタンダードネクストステージ」に基づき、教育目標の達成と「学びと感動のある学校づくり」として以下の学校像の実現、SDGs等の今日的な教育課題へ対応に取り組むとともに、「地域に開かれた教育課程」や「カリキュラム・マネジメント」の考え方を基に、授業改善推進プランの活用など、PDCAサイクルで教育活動の改善を図る。

未来に生きる力を育てる（知的な好奇心・感動・夢目標）学校
保護者・地域が誇りに思う（理解・協働・安心安全）学校
教職員が誇れる（参画意識・互助補完・自己成長）学校

III 特色ある教育

関わりのある教育（本年度重点）

- きょうだい学年の交流活動により、望ましい集団をつくり、よりよい人間関係を構築する。
- 日常的・期間設定により、互いのよさを認め合う態度を培う。
- スポーツフェスティバル・音楽会の鑑賞において感想交流を行い、達成感を味わい、よさを認め合う態度を培う。

繋がりのある教育

- 地域学校協働本部（とよにしサポーターズクラブ）のコーディネートによる地域のリソースを活用した、連携・交流授業を実施する。
- 昭和大学附属江東豊洲病院から医師を招聘し、命の大切さ等を学ぶ保健指導・学習を実施する。

江東区立豊洲北小学校

住所 〒135-0061 江東区豊洲3-6-1

電話 3533-9862(職員室)
3533-2631(ひまわり教室)

FAX 3533-9863

校長 喜多 好一

副校長 中込 圭・槌野 由希子

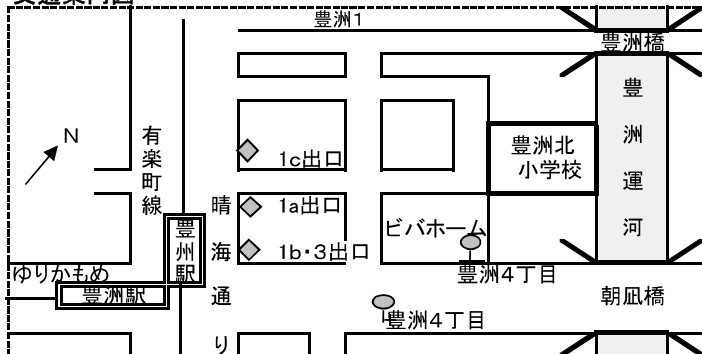
教職員数 50名 (5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	ひまわり教室
児童数	151	175	159	181	168	176	1010	9
学級数	5	5	5	6	5	5	31	0



◇ 交通案内図



◇ 交通機関

- ◆ 東京メトロ有楽町線
「豊洲駅」下車
1abc、3番出口
- ◆ ゆりかもめ
「豊洲駅」下車
- ◆ 都営バス
海01・門19・業10・
錦13系統
「豊洲4丁目」下車

校章の由来



下から「カモメ」
「波」「貝」を表す。
末広がりの形は、
学校の発展を願っ
ている。

令和6年度 江東区立豊洲北小学校 学校経営計画 グランドデザイン

「知を活かす力を育む」を合い言葉に、

答えのない問いに、答えを「創造」でできる子を育む

① 「子ども主体の探究的な学びを促す授業」の実践

(令和6年度江東区教育委員会 授業改善推進校)

・学習の見通しをもって学習計画を立て、友達等との協

働的な学びを通して、主体的な活動を促す授業の実施

・話す力(声量アップ含む)の向上…詩文音読、スピーチ

・書く力の向上…全ての授業の最後に振り返りを書く

・読む力の向上…Mottosokka!等による読書活動推進

② クロムブックICT機器を活用した授業改善

・「学びポケット」等のアプリの効果的な活用

③ 「個別最適化された学び」の保障

・学びスタンダード講師等による個に応じた指導の充実

・「学習サポートシート」による支援、指導の実施

・個々の学び方に応じた特別支援教育の実施

(ひまわり教室と連携した自立活動の指導)

・低学年「読み書きアセスメント」(MIM)による支援

④ 単元・教科担当制による交換授業の実施

・全学年、道徳の交換授業+個々の教員の専門性

に応じた単元・教科担当制

⑤ 「豊北SD」(生活編と学習編)の徹底

・チャイム着席、挨拶、返事、姿勢の重視

⑥ 学び続ける習慣づくり

・クロムブックを使った家庭学習と「チャレンジ学習」奨励

⑦ 豊洲ブランド等と連携した授業の実施

・キッズニア東京(キャリア教育等) 全学年

・パーソナル&テクノロジー(プログラミング教育) 全学年

・IHI(ふるさと教育) 中学年

・地域の和太鼓サークル(ふるさと教育) 全学年

学校経営理念

はじめに子どもありき

どの子ども大切にする教育

「自己選択・自己決定・自己調整」力

「子ども主体の教育活動」の推進、創造

目指す学校像

安心して登校できる学校

素直で
思いやりのある子

元気な子

進んで考える子
(重点目標)

心身ともに
たくましい子

最後までやり抜く子



「決めたためあてに向けた不断の努力」を合い言葉に

目標に向けて最後までやり抜く子を育む

① 「学年テーマ」に基づいた教育活動の実施と年度末のプレゼン

② 一人一役となる「実行委員会」制度の充実(3年～6年)

③ 「キャリア・パスポート」を活用した行事等への取組

学期末、運動会、音楽会等に目標設定し、振り返る

④ 特別の教科 道徳:「努力と強い意志」の重視



「多様性の尊重」を合い言葉に、

互いのよさや違いを素直に認め合える子を育む

① いじめを容認する児童ゼロ、困っている人を見かけたら

すぐに手助けする児童100%にする。(最重要課題)

② 目と心と耳で「聴く」態度の定着

・相手の話に思いを馳せて聴く、相手の気持ちを想像する

③ 「素直は伸びる」を合い言葉にした指導

・先生や友達からの助言等を素直に受け入れ、行いを正す

④ 「思いやり算」の励行

・「助ける、引き受ける、声をかける、分け合う」の日常化

⑤ 「温かく居場所のある学級」の実現

・全学級で所属感の味あえる支持的な学級作りの実現

・自己肯定感を育む毎日の「いいところみつけ」の実施

・子どもが自主的に取り組む学級活動の充実

⑥ 気持ちよい「あいさつ響く学校」の実現

・年間3回全校児童による「let's挨拶運動」の実施

⑦ 異学年、異年齢、障害者との交流活動の推進

・なかよし活動、兄弟学年交流、幼稚園との交流により、下

級生に優しくやり取り、高学年を敬う心構えを育む。

・様々な障害を学ぶ授業等による障害者理解教育を推進し、

共生社会の一員としての資質を育む。

⑧ 人権教育、道徳教育の推進～人権感覚を育む～

・多様性への理解を深める「特別の教科 道徳」

重視する価値:「親切・思いやり」「規範意識」「礼儀」等



「健康な身体づくりと体力アップ」を

合い言葉にたくましい子を育む

① 「体力向上プロジェクト」の取組

・「筋持久力」「筋力」「柔軟性」「巧緻性」向上

※体育朝会、短縄月間等の実施

・体幹を鍛えるコアオーディネーショントレーニング

※体育授業の「わくわくタイム」で実施

・年間2回、全学年による長縄チャレンジ

・休み時間や体育で三丁目公園の活用

② 健康教育、食育の充実

・よりよい睡眠に向けた眼育の推進

・ストレスマネジメントを重視した保健指導

・月毎の「保健指導日」と「給食指導日」の設定

・ラジオ体操による「姿勢教室」の開催

・5年生の総合的な学習の時間に食育単元設定



□ 校内研究テーマ「子ども主体の探究的な学びを促す授業づくり」

～協働的な学びと個別最適な学びの工夫を通じた授業改善～

令和7年7月～令和8年6月に校舎等の改修工事が予定されています。工事期間中は、令和8年7月まで仮校舎（旧南砂西小：南砂2-3-13）で授業を行う予定です。通学は、バス通学となる予定です。
※工事期間は、現時点での想定工事期間になります。計画内容や関係法令等改正に伴い、工期が変更になる場合があります。

江東区立東雲小学校

住 所 〒135-0062 江東区東雲2-4-11

電 話 03-3529-1451

FAX 03-3528-1768

校 長 望 月 潔

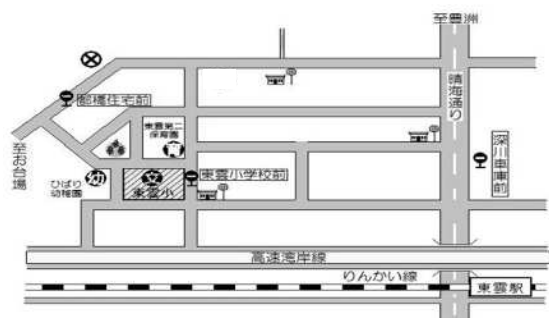
副 校 長 安西 由香里

教職員数 36名 (令和6年5月1日)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	86	123	131	136	117	140	733
学級数	3	4	4	4	4	4	23

◇交通案内図



◇交通機関

- ◆ 東京臨海高速鉄道りんかい線
「東雲駅」下車徒歩7分
- ◆ 都営バス
「深川車庫」下車徒歩5分
錦13・東16系統
「都橋住宅前」下車徒歩3分
海01系統
「東雲小学校前」下車徒歩1分
東15・都05系統

昭和54年開校 開校46年

経営理念：児童一人一人を大切にする教育

明日も行きたい！と思える学校・安心してこどもを任せられる学校・誇りとやりがいを感じる学校

教育目標：◎よく考えるこども（重点目標） ○ねばり強いこども ○心豊かで健康なこども

し しっかり！
基礎基本

「学びスタンダード」の徹底 〈学習規律と基礎基本を身に付けさせる〉

の ばす！
思考力
判断力
表現力

「楽しい・かかわる・わかる・できる」授業実践

〈学習意欲、考える・深める・使える力を伸ばす〉

SDG'sへの取組 〈持続可能な社会の担い手を育てる〉
道徳教育の充実 〈よりよく生きる判断力、態度を育む〉

の びのび！
学校活動

健康教育の充実 〈健康・体力を増進させる〉
学校行事の成功体験 〈成就感・達成感から自信と意欲をつけさせる〉

め りはり！
生活・態度

目標を立て継続して取り組む指導と支援 〈やり遂げる力を伸ばす〉
「あたりまえ」の徹底 〈規範意識とマナーを向上させる〉
安心安全教育の徹底 〈命を守る、危機管理能力を育てる〉

は・あ・と ～心を育む教育～



話を聴く



挨拶をする



友達を大切にする

学校スローガン『たのしめ、しのめ！』

楽しくなければ、学校じゃない！ みんなで楽しみ、みんなで喜び、みんなで頑張る！

江東区立有明小学校

住所 〒135-0063 江東区有明2-10-1

電話 03-3527-5101

FAX 03-3527-5124

校長 武田 淳

副校長 和田 直己

教職員数 32名



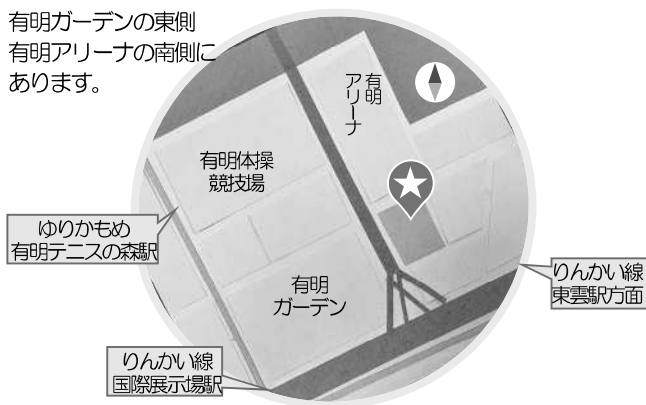
(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	教職員	合計
児童数	125	99	87	94	89	58	24	576
学級数	4	3	3	3	3	2	3	21



◇交通案内図

有明ガーデンの東側
有明アリーナの南側に
あります。



◇交通機関

- 東京臨海高速鉄道（りんかい線）
東雲駅 下車徒歩10分
- 東京臨海新交通臨海線（ゆりかもめ）
有明テニスの森駅 下車徒歩10分
有明駅 下車徒歩10分
- 都営バス（海01 門前仲町—東京テレポート駅前）
有明小中学校前 下車徒歩1分

誰もが幸せになれる学校

子どもたちが安心して楽しく学校生活を送る
「現在の幸せ」と未来社会を生き抜く力を身につける
「未来の幸せ」を実現させ、保護者、地域、
教職員の幸せにつなげていく。

人権こどもまんなか5本柱

- ① 子どもたちが創る「よりよい学校生活」
- ② 人権に関する知的理解と人権感覚
- ③ 一人一人の学びの保障と話し合い活動
- ④ 心を育てる道徳教育・道徳科授業
- ⑤ 心と体の健康

学び続ける人

こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）の推進のために、
教師が「教える」から子どもが
「学ぶ」授業への転換を図り、ICT
機器を効果的に活用しながら、**個別最適な学びと協働的な学び**を
実現させていく。

こどもの**自己調整力**（見通しをもつ、
学びを振り返る等）を高め、
「自ら主体的に学ぶ人」「他者と協
働しながら課題解決を図る人」の
育成を目指す。



安全教育の充実

「危険を予測し回避する能力」
の育成を図るために、日常的、計
画的な安全指導と教科、領域にお
ける安全学習を充実させる。特に
交通安全には力を入れ、**全学年で**
の**交通安全教室**やPTA・教職員に
よる「**横断歩道での旗振り指導**」
「**見守り活動**」「**月1回の集団**
下校」を実施する。

小1 から中3 まで同じ施設で過ごして

有明中との連携教育

小中で同じ学校教育目標を掲げ、その実現に向け、
「**9年間のこどもの育ちと学びを支える**」を主題とし、
学習面・生活面で連携して教育を行っています。また、
「**小中ふれあいデー**」や「**中学生による読み聞かせ**」など、
小中合同の行事を行い、交流を図っています。

※一貫校ではありませんので、学校選択制については、通常どおり実施されます。

令和 8～9 年度に校舎等の改修工事が予定されています。

江東区立枝川小学校

住 所 〒135-0051 江東区枝川 3-5-3

電 話 03-3644-4941

FAX 03-5690-4017

校 長 加 藤 勲

副 校 長 高 野 敏 郎・佐 藤 ゆきこ

教職員数 45名



(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支学級	合 計
児童数	130	138	165	126	138	133	30	860
学級数	4	4	5	4	4	4	4	29

◇交通案内図



◆交通機関

東西線木場駅 (業10) 新橋行・深川車庫行
 東西線東陽町駅 (陽12) 昭和大学江東豊洲病院前行・豊州市場行
 有楽町線豊洲駅 (業10) とうきょうスカイツリー駅前行
 (錦13) 錦糸町駅前行
 (陽12) 東陽町駅前行
 JR 錦糸町駅 (錦13) 晴海埠頭行
 上記すべて 枝川2丁目下車
 (錦13) 深川車庫行 八枝橋下車
 JR 京葉線 潮見駅下車 徒歩12分

沿革

昭和35年4月1日 平久小、豊洲小より計672名の児童を迎え開校。以来地域の人々や保護者の熱い思いに支えられながら発展し、昭和59年には校舎の全面改築を行った。枝川、塩浜、潮見など学区域には大規模な集合住宅が次々に建設され、児童数の増加が続いた。平成19年には、新校舎特別教室棟完成とともに校庭が拡張され、平成21年4月には特別支援学級が開設した。平成23年には、校庭改修工事と校庭の一部芝生化を行い、江東区体力向上推進モデル校として、研究発表会を行った。平成28・29年度は、江東区教育委員会研究協力校の指定を受け、算数指導を通し、学び合いを重視しながら、自ら考え、表現する子の育成を目指して研究を推進し、研究発表会を行った。令和2年度には、開校60周年記念式典を挙行了。令和5年度より、区内小学校で2校目のコミュニティ・スクールとなる。

教育目標と特色ある教育活動

◎進んで学び考える子

- ★「スタンダード・枝川版(学習編)」の確実な定着を目指し、基礎的基本的学力を身に付けます。
- ★すべての教科を通して、「主体的に考え、表現する子」を育てます。
- ★朝の「枝川タイム」では、「国語」(俳句・読書等)「算数」「音楽」や「集会」、「健康」(運動・食育等)に取り組みます。
- ★各学年「家庭学習基本方針」を示すとともに、タブレット端末を活用して、家庭学習の習慣化を図ります。



○最後までやり抜き、たくましく生きる子

- ★健康に対する意識の向上と運動の習慣化を図ります。木曜日朝の「健康タイム」や「ユニバーサルスポーツ」に取り組みます。
- ★給食指導と連動した食育や養護教諭等による健康教育、長期休業明けの基本的な生活習慣を見直す「ハッピー貯金」の取組を推進し、自ら健康について考え、実践する子の育成を図ります。

○互いに認め合い、思いやりのある子

- ★挨拶の指導を重視し、校内外を問わず進んで礼儀正しく挨拶する子を育てます。
- ★体験・交流活動を充実させ、様々な人とよりよくかわる子を育てます。縦割り班活動(異学年交流)や仲よし学級・幼稚園との交流学習に取り組みます。
- ★いじめ・不登校対策を確実にを行い、未然防止・早期発見・解決に努めます。特別支援委員会や生活指導夕会を充実させ、特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーと連携して、組織的な対応を図ります。



江東区立辰巳小学校

住 所 〒135-0053 江東区東陽1-11-11
電 話 03-3521-1164
FAX 03-3521-8415

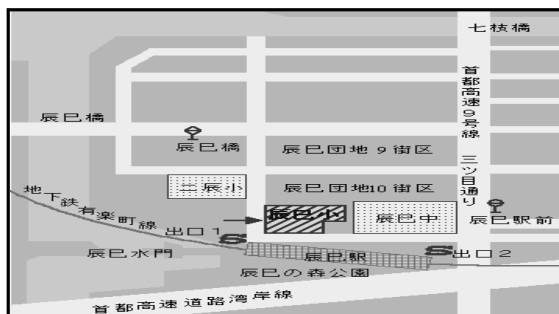
校 長 松下 由美子
副 校 長 鈴木 伸之
教職員数 20名



(5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児 童 数	40	53	43	61	53	40	290
学 級 数	2	2	2	2	2	1	11



交通機関

★地下鉄★

東京メトロ有楽町線
「辰巳」駅下車1番出口

★都営バス★

錦13 門19
深川車庫行 辰巳駅下車

わたしたちの学校
は、今年度、開校 56
周年になりました。



教育目標

「明日を担う人をつくるために」

～社会の多様なニーズに対応し、生きて働く力をつける～

にこにこ 元気に やりぬく子

- 「にこにこ」・・・ 人権尊重の精神のもと、互いに支え合い、安心して楽しく、伸び伸びと過ごす。
- 「元気に」・・・ 生きる力の基本となる心身の健康を保ち、主体的・積極的に活動する。
- 「やりぬく子」・・・ 自分の課題をもち、多少の困難があっても、最後まであきらめずやり遂げる。

経営方針

「こどもを育てる学校」から「こどもが育つ学校」へ「こどもまんなかの学校」
～こどもたちも教職員も保護者も地域もみんなが笑顔になる、みんな輝くウェルビーイングな学校～

- こどもたちが主体的に学び活動する学校
- 保護者・地域とともに創る開かれた学校
- 教職員が協働して教育活動を創造していく学校
- 児童・保護者・地域がともに学ぶ安心・安全な学校



経営理念

- 人権尊重の精神を基盤とし、知・徳・体のバランスのとれた人間性豊かな明日を担う人をつくる。
- 一人一人の児童が、それぞれ互いの多様な個性を尊重し、自らの資質、能力、興味、関心に応じて自ら学ぶとともに、互いに認め合い支え合いながら学んでいける学校を目指す。

【知】・「こどもと学ぶ」授業の展開

・ICTを活用した授業の推進から個別最適な学びと協働的な学びの充実

【徳】・自他を大切に、互いに認め合う子の育成、自己肯定感を高める心の充実

・道徳教育の充実 ・幼小連携教育、縦割りの班活動、飼育活動、金管バンドの取り組みから協働する活動の充実

【体】・体力・運動能力・生活運動習慣等調査の結果をもとに、的確な目標をもち意欲的に体力の向上を目指す子の育成。

・困難に負けず、ねばり強くやり遂げ、チャレンジする子を目指し、失敗してもやり直しができる環境づくり。

江東区立第二辰巳小学校

住 所 〒135-0053 江東区辰巳1-1-22

電 話 03-3521-3803

FAX 03-3521-8416

校 長 新貝 朗

副 校 長 牧 孝信

教職員数 38名 (令和6年5月1日現在)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児 童 数	139	138	122	131	139	115	784
学 級 数	4	4	4	4	4	3	23

◇交通案内図



◇交通機関

- ◆東京メトロ有楽町線
「辰巳駅」下車 徒歩4分
- ◆都営バス 門19系統
「辰巳橋」下車 徒歩5分
- ◆都営バス 錦13・門19系統
「辰巳団地」下車 徒歩5分

夢いっぱい・花いっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱい・二辰の子

〈確かな学力〉

〈ボランティア〉

〈豊かな心〉

〈健やかな身体〉

教育目標

- ◎ 考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子

明日が待ち遠しい学校

当たり前のことが当たり前のできる学校

☆すべては二辰小のこどもたちのために☆

『目指すべき学校像』

- ①児童が明日も行きたいと思う学校
 - 学習意欲の向上
 - 自尊感情・自己肯定感の高揚
- ②教職員が児童のために切磋琢磨する学校
 - 授業力の向上と校内研究の充実
 - 互いに高め合う教職員集団
- ③保護者が信頼して通わせる学校
 - 思いやりの心を育てる
 - 心身を鍛える
- ④地域が“おらが学校”として誇れる学校
 - 保護者や地域との連携
 - OHPでの情報発信
 - あいさつと家庭学習の大切さの浸透
- ⑤こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)が確実にできる学校
 - 学び方スタンダードの徹底
 - 学びスタンダードの徹底

『本校の特色』

- 確かな学力の育成
 - ・主体的な学びを引き出す
 - Challenge Wednesday 発表集会
 - ・二辰タイムでの反復学習 ・二辰塾での補習や補充
 - ・校内研究「答のない時代を生き抜く児童の育成」
- 心の教育の充実
 - ・あいさつ運動 ・異学年交流(なかよし班)
 - ・自己有用感の醸成(帰りの会での今日のキラキラさん)
- 体力向上
 - ・体力向上週間の設定(短縄・長縄チャレンジ、ランニング)
- 地域と共に
 - ・地域ボランティアとの様々な体験学習
 - ・地域ボランティアによる読み聞かせ、読書推進
 - ・地域は先生、地域リソースの活用

100周年への第1歩、
今年は
開校51周年!

- ・起業家教育カリキュラム・マネジメントの開発
- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・教科等の見方・考え方の育成 ・非認知能力の醸成
- ・辰巳・東雲地域を好きになる産官学連携を図った教育課程

江東区立有明西学園（義務教育学校）

住 所 〒135-0063 江東区有明1-7-13

電 話 03-3527-6401（前期課程）6403（後期課程）

FAX 03-3527-6407

校 長 井熊 豪

副 校 長 河口 和彦・菊地 幸子・石神智子・山内隆弘

教職員数 74名

（5月1日現在）



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	前期計	7年	8年	9年	後期計	合 計
児童・生徒数	127	160	175	186	178	185	1011	106	88	89	283	1294
学 級 数	4	5	5	6	5	5	30	3	3	3	9	39

◇校章



【校 訓】 「かいっぱい ～Do my best!～」
【教育目標】 ○優しい人 ○学び深める人 ○挑戦する人

【アクセス】

- 東京臨海新交通臨海線（ゆりかもめ）
有明テニスの森駅 下車徒歩5分
- 東京臨海高速鉄道（りんかい線）
国際展示場駅 下車徒歩15分
- 都営バス（海01）有明テニスの森 下車徒歩 3分



有明西学園は、1年生から9年生までのこどもたちが一体となって共に学ぶ、江東区で唯一の義務教育学校です。

教育方針

小中一貫の取組

- ・学校行事等の小中一体化
- ・前期課程における教科担任制、交換授業等の導入
- ・5・6年生の50分授業の実施
- ・5年生からの部活動への参加

有西授業スタイル

<ICT を効果的に活用した授業>

- ・一人一人の能力や個性を大切にした授業
- ・児童生徒が「主体的」に取り組む授業
- ・「考える」「表現する」ことを大切にした授業

特色ある教育活動

スマイルプロジェクト

1年生から9年生による縦割り班活動

- ・日常的な異学年交流 6年生：班長 7～9年生：アドバイザー
- ・スマイルタイム（年間を通した縦割り班活動）／全校遠足 等



『木育』

SDG s

校舎を教材として学ぶ

- ・地場産業である「木材」を活用した学習（4年）
- ・木や森林について学ぶ檜原村自然体験（5年）
- ・林業に関わる学習と植樹体験（8年） 等

体験的学習の充実

知識・思考を働かせる

- ・共 生：障害者スポーツの体験等
- ・多様性：1年生からの英語教育・英語専科による授業・TGG
- ・実践力：企業との連携による授業・長崎県修学旅行等



有明西学園に関わる全ての方が **Ari-nishi Family** です!